

事例3

三面図を使って残留リスクマップを作成した例（真空包装機）

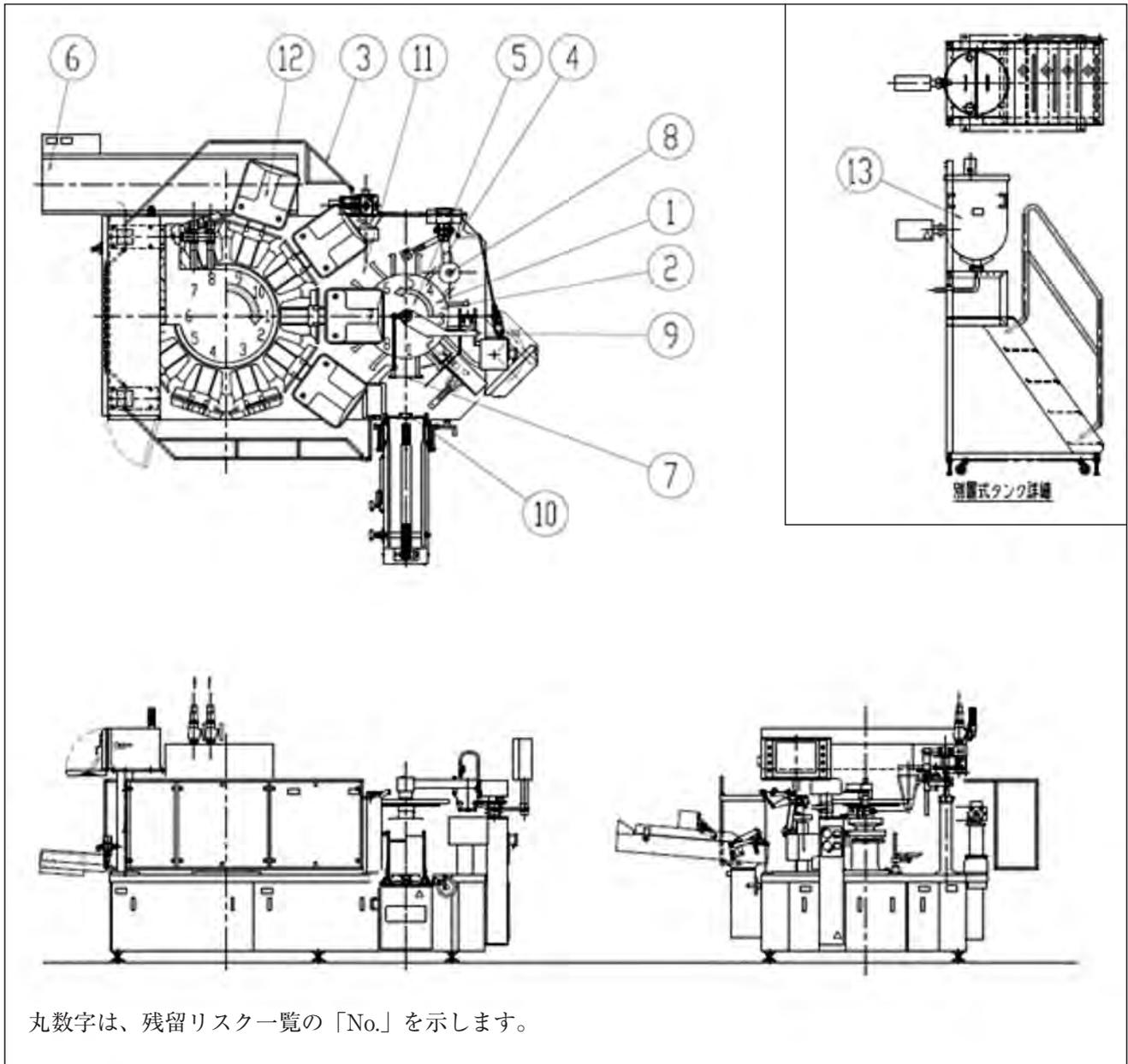
機械の外観



残留リスク一覧

No.	機械上の箇所	運用段階	作業	作業に必要な資格・教育	残留リスク	危害の内容	使用上の情報提供		取扱説明書参照ページ(A01123)
							警告ラベル	機械ユーザーが実施する保護方針	
1	可動部	起動時	包装機本体の起動	マニュアルを理解し、操作教育を受けている	警告	他の作業者が付近にいると挟まれ、巻き込み	—	回転中は手を触れないようにしてください	5-1、6-1
2	可動部	運転中	包装機運転中の待機運転		警告	機械が停止していると思いこみ手を出し巻き込まれる	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください バトライト点灯中は手をふれないでください	6-2
3	テーブル	運転中	包装機の運転		警告	巻き込み	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください	1-5
4	テーブル	運転中	運転中の作業		警告	機械の中へ手を入れ巻き込まれる	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください	1-5
5	テーブル	運転中	運転中の型替え		警告	運転中袋の寄り代を変更して挟まれる	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください	1-5
6	製品コンベア、プレスコンベア	運転中	製品コンベアの運転		警告	巻き込み	コンベアモーターのカバーへ警告ラベル表示	回転中は手を触れないでください	1-5
7	グリッパー	運転中	不良品の除去		警告	袋が片掴みしたとき取り出そうとして巻き込まれる	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください	1-5
8	グリッパー	運転中	手動投入		警告	手や体が機械の作動部に接触し巻き込まれる	ホッパー付近へ警告ラベル表示	回転中は手を触れないでください	6-2
9	追従ガイド	運転中	テーブルの清掃		警告	テーブルの汚れを落とそうとして挟まれる	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください	1-5
10	袋供給駆動部	運転中	不良品の除去		警告	給袋不良時、回転部に手を触れる	付近のフレームへ警告ラベル表示	運転中は手を入れないでください	1-5
11	仮シール(OP)	型替え	シール部型替え		警告	やけど	カバーへ警告ラベル表示	温度が高い間に手を触れないようにしてください	8-7
12	真空チャンバー	清掃時	運転中の清掃		警告	挟まれ	カバーへ警告ラベル表示	運転中はカバーを開かないでください 清掃時は電源を落としてください。 必要な場合は寸動運転のみ可能とします	8-7
13	タンク	清掃時	タンク清掃		警告	タンク搬送時に足の上へ落とし込まれる	タンクへ警告ラベル表示	タンク搬送時は落下の恐れがあるため 2人以上で行ってください	別紙

残留リスクマップ



丸数字は、残留リスク一覧の「No.」を示します。

残留リスクマップは、機械の危険源が一覧できることが重要です。

写真や俯瞰図などは、一方向の表現に優れていますが、どうしても隠れた部分が生じてしまいます。その隠れた部分にも危険源などがある場合は、機械ユーザーにとって危険箇所の特定が難しいことになります。

危険源が、機械の特定の方向にまとまっておらず、様々な方向に残留リスクとして存在する場合は、三面図を使って、危険箇所を示すのもひとつの方法です。